

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

連番	985	例会No.	一般654	内容	奥立岩から岩湧山	実施年月日	2020/11/1	担当者	板谷、前田	
参加者	板谷佳史、前田守、村木正人、翁長和幸、飯尾廣子、有永寛、牧村市和、村木とも子、大森朋江、上野あさみ、安岡和子、保木道代、佐野雅美、脇本勇二、黒澤百合子								参加者数	15
担当者コメント	奥立岩は昔から横谷の岩場と呼ばれて知られていたが現役時代には行く機会がなかった。個人的に何度か訪れて概要を掴んだので岩湧山と組み合わせれば例会にできると考え企画しました。取り付き点あたりを大勢で通過したらクライマーから「落石有るで」と注意される始末で老クライマーがウロウロしてはいけならしい。それにしてもネットで紹介されたりしてここも盛況のようだ、車の駐車や排泄物の始末などで地元とトラブルにならないようにしないと槇尾山の二の舞になりかねないのでは。ガヤガヤと大勢で巻き道を登って裏側へ下った後、再び横谷の関電道から岩湧稜線へ登り返すのは結構きつかった、更に扇山から夕月橋へのとんでもない急下降で終了というコースで気の抜けないピリッとした例会となりました。 記:板谷									
連番	986	例会No.	OP321	内容	稲村ヶ岳	実施年月日	2020/11/7~8	担当者	小椋(勝)、山倉	
参加者	小椋勝久、山倉康次、板谷佳史、有永寛、前田守、村木正人、村木とも子、上野あさみ、保木道代、大森朋江、安岡和子、小椋美佐、黒澤百合子、飯尾廣子、西村晶、脇本勇二								参加者数	16
担当者コメント	11月7日 今回は、ゆっくり下市口駅に昼からの集合にし車で泊地に向かう。途中、車窓から観る紅葉は秋真っ盛りでとてもきれいでした。紅葉の洞川キャンプ場はコロナウイルスのためか大盛況、テント場もコテージも満員状態、どこのキャンプ場もこんなだろうか考える。これでは都会と一緒にだなどと考えながら手続きを終わらせ全員で食事の準備を始める。皆さんテキパキとして早い準備が終わり少し早い宴会を始める。みなさん酔いが回ってくると山の歌を歌い始め皆で手拍子。歌が終わると、わいわいがやがやと山の話や近況報告に話も弾みあつという間に時間も過ぎてしまいました。11月8日 前日からの雨も上がり、朝5時半に起床し母公堂へ向かう。母公堂で挨拶を済ませ稲村ヶ岳へ向かう。稲村ヶ岳はもう晩秋で紅葉も散り冬支度 すっかり葉が落ちたブナ林の中を歩くと落ち葉を踏む音が聞こえてくる。紅葉真っ盛りの山もいろいろ静かな山も良い。冬の雲の下、山頂へと向かい山頂で記念写真を撮り下山する。今回は当初はテント泊としていましたが11月になってもコロナウイルスの終息は見えず寒くなり感染者が多くなっていく状況の中で、多人数での泊りと食事、コテージも大きいサイズにして密を避け換気を十分とりながらの宴会でしたが、たまにはこういう企画も必要だなと考えました。コロナで世の中が大きく変わっていく中、山行スタイルも変わっていくのだろうかと考えさせられた2日間でした。 記:小椋(勝)									
連番	987	例会No.	一般655	内容	(ベーシック登山No.62) 日吉大社~比叡山・横川中堂~西教寺	実施年月日	2020/11/15	担当者	野原、板谷	
参加者	野原勇、板谷佳史、脇本勇二、三原秀元、保木道代、安本嘉代、上野あさみ、大森朋江、喜多田恵美子、實操綾子、安本昭久、河合幸夫、佐野雅美、中村仁紀								参加者数	14
担当者コメント	NHK大河ドラマ「麒麟がくる」も佳境に入ってきました。今日の放送では織田信長軍が朝倉義景軍との「金ヶ崎の戦い」で義弟・浅井長政の裏切りに会い京都に敗走、態勢を立て直し巻き返しを図る。来週以降の放送からいよいよ「金ヶ崎の戦い」の敗因となった織田信長の妹(お市)の婿(浅井長政)を攻める「姉川の戦い」を経て朝倉義景・浅井長政を滅亡に追い込み、比叡山焼き討ちへと話は展開していきます。今日は天気も良くポカポカして絶好のハイキング日和となった。登山口は日吉大社東本宮の直ぐ横、段差のきつい石段を経て、奥宮(三宮宮、牛尾宮)まで続く七曲りの急坂を登る。坂本の町と琵琶湖を眼下に奥宮で小休止、八王子山頂上から三石岳を目指す。登山道は迷うことのない整備された道。三石岳はハッキリした登路がないため割愛、横を巻く。横川中堂への途中にある「日本生命慰霊宝塔」の紅葉は赤色、黄色、橙色など太陽の陽に透かされ、参加者の多くがカメラを向けるほどの素晴らしい紅葉、黄葉でした。横川中堂前のベンチで昼食大休止。昼食後、再度来た道を引き返し「日本生命慰霊宝塔」の横から飯室不動寺に続く長く急な下山道を下る。飯室奈良坂の登山口到着13時55分、登山前に予測していた14時の5分前。ほぼ予定通りでした。その後明智光秀の菩提寺である西教寺を拝観。比叡山焼き討ちで西教寺を灰にした本人が坂本城主に着いた後、再興に尽くしたということで、死後同寺に埋葬されることになりました。明智光秀という「本能寺の変」で謀反人というイメージがありますが、坂本城下の領民にとっては良い領主だったようです。2017年1月の逆コース例会時に、西教寺総門から見た雪道に一直線に続く参道を歩いてみたいという想いを季節は違いますが達成することができました。 記:野原									
連番	988	例会No.	一般656	内容	金剛山(1,125m)	実施年月日	2020/11/22	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者	西村晶、森本善博、佐野雅美、脇本勇二、前田守、喜多田恵美子、飯尾廣子、村木とも子、大森朋江、村木正人、西向美保子、和田敬子、和田良次、安岡和子、榎葉三代子								参加者数	15
担当者コメント	五条林道から千早峠までの道沿いに お椀を伏せたような花尾山が林の中の中にたたずんでいます、標高は802mで林道から5分位で頂上に登る事ができますが、登山路は笹で覆われ微かな踏み跡を探し出すのに苦労しました。山と高原地図には山名が記載されています。例会No. 652で水越峠から登った白雲岳も登山道から少し外れた所がありました、寄り道登山もまた楽しいですね。主稜線上の樹木は葉っぱを落として冬の準備を始めていました。 記:西村(晶)									
連番	989	例会No.	OP322	内容	和泉山脈・大川峠~紀淡海峡	実施年月日	2020/11/29	担当者	翁長、大石	
参加者									参加者数	
担当者コメント	中止									
連番	990	例会No.	一般657	内容	湖東・能登ヶ峰	実施年月日	2020/12/6	担当者	小椋(勝)、森本(善)	
参加者									参加者数	
担当者コメント	コロナ禍中止									
連番	991	例会No.	OP323	内容	鈴鹿・綿向山	実施年月日	2020/12/13	担当者	前田、板谷	

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	992	例会No.	一般658	内容	六甲全山縦走①塩屋～横尾山 ～高取山～鶴越	実施年月日	2020/12/13	担当者	野原、西村(晶)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	993	例会No.	一般659	内容	京都北山・半国高山	実施年月日	2020/12/20	担当者	杉本、山倉	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	994	例会No.	一般660	内容	湖北・七々頭ヶ岳	実施年月日	2020/12/27	担当者	板谷、村浪	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	995	例会No.	一般661	内容	新年登山 播州・京見山～鬘櫛山	実施年月日	2021/1/10	担当者	板谷、前田	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	996	例会No.	一般662	内容	和泉山脈・お菊山	実施年月日	2021/1/17	担当者	翁長、小椋(勝)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	997	例会No.	OP324	内容	播州赤穂・亀甲山・百間岳+α No.26牡蠣料理	実施年月日	2021/1/23～24	担当者	杉、小椋(勝)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	998	例会No.	一般663	内容	水越峠～紀見峠駅 近畿の山リ レー登山No.25	実施年月日	2021/1/24	担当者	山倉、板谷	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	999	例会No.	一般664	内容	金剛山(1,125m)	実施年月日	2021/1/31	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	1000	例会No.	一般665	内容	和泉山脈・犬鳴山表行場～高 城山	実施年月日	2021/2/7	担当者	翁長、小椋(勝)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	1001	例会No.	OP325	内容	比良・権現山～蓬莱山	実施年月日	2021/2/13～14	担当者	野原、板谷	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	1002	例会No.	一般666	内容	麻呂子山～二上山	実施年月日	2021/2/14	担当者	杉本、山倉	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止									
連番	1003	例会No.	OP326	内容	和歌山・天狗岳	実施年月日	2021/2/21	担当者	小椋(勝)、杉本	
参加者									参加者数	

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1004	例会No.	一般667	内容	高御座山(304m)	実施年月日	2021/2/21	担当者	前田、野原	
参加者										
参加者数										
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1005	例会No.	OP327	内容	湖北・赤坂山スノーシュー体験登山	実施年月日	2021/2/27~28	担当者	板谷、小椋(勝)	
参加者										
参加者数										
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1006	例会No.	一般668	内容	和泉山脈・四石山から金熊寺	実施年月日	2021/2/28	担当者	翁長、西村(晶)	
参加者										
参加者数										
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1007	例会No.	一般669	内容	故神阪鐵志氏慰霊登山 大和高取山、高取城跡	実施年月日	2021/3/7	担当者	紀伊莖本(節)、秋田	
参加者	紀伊莖本節雄、秋田文雄、神阪洋子、三原秀元、安本昭久、保木道代、佐野雅美、上野あさみ、板谷佳史、西向美保子、西村晶、中川由紀、喜多田恵美子、實操綾子、大森朋江、安本嘉代、翁長和幸、野口秀也、小椋勝久、小椋美佐、村木正人、村木とも子、森本善博、杉本康夫									
参加者数	24									
担当者	コメント									
コメント	壺阪山駅の朝は、春にしては肌寒いほどである。折りから、城下町は「町家の雛めぐり」が催されていて、軒々に飾られた雛壇を眺めて行くと、けっこう華やかな気分になる。ところが、土佐街道を抜けると急坂が待っていた。久しぶりの山歩きと、はて、こんな急坂だったか？とたじろぐ内に、仲間達から取り残されてしまった。気がつくと、森閑とした山城に至る道を独り喘ぎながら歩いていた。だが、これはこれで、今日という日にふさわしい気分である。もっともこれでは例会担当者としては失格だ。天守台跡を含む山頂は、広々と明るくなっていた。記憶にある限り、この山頂一帯は深い森に覆われていたのだが、かなり意図的に伐採されたのでしょうか。でも壮大な城跡の風景は、むしろこちらの方が魅力的かと思われる。歴探EPEの猛者達も「いいなあ！凄いな！」を連発している。やっぱり、神阪鐵志君の慰霊登山は、この山城を選んでこそ甲斐があったとうれしくなる。高取山城址は、EPEの例会で過去2度取り上げているが、実は、かなり前の若い頃に、この山城跡で「月見の宴」を張ることが幾度かあった。大樹の梢を透して見る満月を、今一度、見てみたいと思う。神阪鐵志君の十八番(おはこ)は、土井晚翠作詩、瀧廉太郎作曲「荒城の月」の正唱であった。下山路に、国見櫓跡に立ち寄った。大和平野が見事に広がっている。畝傍三山が小島のように浮かぶ様子は、遠い昔の営みが、今も続けられているかに思える。いつもながら、山登りは楽しい、歳を重ねるほどになお楽しい。それは常に新たな喜びを見出す挑戦でもある。笑止千万と言われようとも、それが、85歳の私のポストアルピニズムである。「なあ鐵ちゃん、聴こえる？」昨年末以来、コロナ自粛で中止されていた例会が、運よくこの日から順次解放されました。お陰様で、多くの皆様とともに故人を偲ぶことができました。 記：紀伊莖本(節)									
連番	1008	例会No.	一般670	内容	兜岳(917m)と鎧岳(893.9m)	実施年月日	2021/3/14	担当者	山倉	
参加者	山倉康次、佐野雅美、安岡和子、飯尾廣子、杉本康夫、森本善博、板谷佳史、大森朋江、上野あさみ、村木とも子									
参加者数	10									
担当者	コメント									
コメント	名張駅で少ないタクシーを待って登山口へ、登山口近くのオートキャンプ場はまだ寒い時期なのにかなりのお客さんがテントを張っていました。登山口の日なし地藏までは道路が崩壊していて車での進入は不可能との情報でしたが現在道路復旧工事で進入は可能となっています。目なし地藏から入山しますが、登山道は結構荒れています、次第に兜岳に向かい勾配が増して、フィックスロープもあり、手を使っての登りです。10:50 最初の頂兜岳に到着、次の鎧岳に向かい、峰坂峠に下降しますが、ここも昨日の雨の影響で滑りやすい急坂です。峰坂峠で休憩後鎧岳へ又急登が始まり、12:15 鎧岳着。ふもとから眺めると結構急な登山道だと予想していましたが、その通りで急な登り下降でした、植林帯の中を下山し新宅本店前バス停に13:50下山し、解散としました。予定では5時間程度の行動と予想していましたが3時間半程度で山行を終了しました。 記：山倉									
連番	1009	例会No.	OP328	内容	果無山脈縦走(冷水山12362.3m)近畿の山リレー登山No. 26	実施年月日	2021/3/20~21	担当者	小椋(勝)、杉本	
参加者										
参加者数										
担当者	雨天中止									
コメント										
連番	1010	例会No.	一般671	内容	六甲全山縦走②菊水山~市ヶ原摩耶山	実施年月日	2021/3/21	担当者	野原、西村(晶)	
参加者										
参加者数										
担当者	雨天中止									
コメント										
連番	1011	例会No.	一般672	内容	新籠アルプス・亀山(457.8m)	実施年月日	2021/3/28	担当者	杉本、山倉	
参加者										
参加者数										
担当者	雨天中止									
コメント										
連番	1012	例会No.	一般673	内容	湖北・東山(595m)	実施年月日	2021/4/4	担当者	小椋(勝)、野原	

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

参加者									参加者数	
担当者	雨天中止									
コメント										
連番	1013	例会No.	OP329	内容	和泉山脈・大川峠～紀淡海峡	実施年月日	2021/4/11	担当者	翁長、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1014	例会No.	OP330	内容	鈴鹿・御池岳(1,247m)テーブルランド	実施年月日	2021/4/18	担当者	小椋(勝)、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1015	例会No.	一般674	内容	大和葛城山(959m)	実施年月日	2021/4/18	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1016	例会No.	一般675	内容	和泉山脈・犬鳴山表行場～高城山(649m)	実施年月日	2021/4/25	担当者	翁長、西村(晶)	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1017	例会No.	一般676	内容	和泉山脈・お菊山(332.8m)	実施年月日	2021/4/29	担当者	翁長、小椋(勝)	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1018	例会No.	OP331	内容	加賀白山(御前峰2,702.1m)	実施年月日	2021/5/2～4	担当者	山倉、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1019	例会No.	一般677	内容	金剛山・千早峠越え五条代官所跡 歴史探訪シリーズNo.45	実施年月日	2021/5/3	担当者	小椋(勝)、紀伊塾本(節)	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1020	例会No.	OP332	内容	福井県・横山岳(1,132m)	実施年月日	2021/5/8～9	担当者	西村(晶)、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1021	例会No.	一般680	内容	水越峠～紀見峠駅 近畿の山リレー登山No.28	実施年月日	2021/5/30	担当者	山倉、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1022	例会No.	OP334	内容	吉野山～大天井岳～洞川温泉 近畿の山リレー登山No.29	実施年月日	2021/6/6	担当者	山倉、板谷	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1023	例会No.	一般681	内容	金剛山(1,125m)	実施年月日	2021/6/13	担当者	西村(晶)、森本(善)	
参加者									参加者数	
担当者	コロナ禍中止									
コメント										
連番	1024	例会No.	一般682	内容	京都北山・半国高山(670.0m)	実施年月日	2021/6/20	担当者	杉本、山倉	

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1025	例会No.	一般683	内容	金剛山(1,125m)石ブテ尾根	実施年月日	2021/6/27	担当者	杉本、小椋(勝)
参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1026	例会No.	OP335	内容	北陸・三ノ峰(2,128m)	実施年月日	2021/7/3~4	担当者	
参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1027	例会No.	OP336	内容	北ア・黒部五郎岳~三俣蓮華岳 ~槍ヶ岳	実施年月日	2021/7/9~15	担当者	野原、板谷
参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1028	例会No.	一般684	内容	金剛山 モミジ谷	実施年月日	2021/7/18	担当者	前田、西村(晶)
参加者	前田守、西村晶、保木道代、上野あさみ、脇本勇二、有永寛、中村仁紀、村木とも子、西向美保子、北山 かな、佐野雅美、西村美幸、安岡和子、大森朋江、橋上猛雄							参加者数	15
担当者 コメント	緊急事態宣言が解除されて約4ヶ月ぶりの山行となった。水越峠より単調な林道を1時間歩く。道端にはめずらしい山ゆりが咲いていた。カヤンボからモミジ谷に入った。道もしっかり付いていて危ないところはない。沢を左右渡りながら登ると、この谷1番の支流、狼谷が合流している。そこからさらに登ると、モミジ谷とモミジ谷本流に分かれていて、竜のような滝が続く本流側を登った。第6堰堤の高巻きが過ぎると、又本流と旧本流(ややこしい)に分かれていて旧本流のガレ場を登った。最後源流の急登を登ると、山頂近くの登山道に出た。山頂広場はどこも人が一杯で出来るだけ密にならない様に昼食をとった。下りはタカハタ道、途中腰折滝を見学、すずしき満点。そこから登山口へ。新緑の木々、沢のせせらぎ、道端の草花、ヒグラシや鳥の鳴き声、さわやかな風、額を流れる汗、やっぱり山は楽しい、長い自粛生活の後でより強く思った。 記:前田								
連番	1029	例会No.	一般685	内容	播磨・西光寺山、加東神山	実施年月日	2021/7/25	担当者	杉本、山倉
参加者	杉本康夫、山倉康次、板谷佳史、三原秀元、佐野雅美、大森朋江、中村仁紀、安本昭久、安本嘉代							参加者数	9
担当者 コメント	本庄墓地と溜池の間の登山口には近畿自然歩道の案内の看板が立っている。荒れた林道を進むと西光寺山への立派な案内板があり、サギソウ自生地となっている。今頃が見頃と思われるが残念ながらそれらしき花を見ることが出来ませんでした。林道をしばらく進むと左手に東屋を見て炭焼窯まで続いている。窯は二つ並んでいるがしばらく使われていないようです。ここから登山道は樹林の中で日陰となっていて傾斜も緩く比較的登りやすい。稜線に出て200mで西光寺山に到着。山頂には三宝荒神が祀られた祠がありその裏手に三等三角点がある。祠の手前には東屋が建てられていて、おかげで直射日光を避け休憩出来たのがありがたかった。洞ヶ山の登りは青いロープが張られ今日一番の急登でした。30分で加東神山に着くが、山頂は樹林の中で山名板があるだけで何もない展望もなし。ここから今日登ってきた今田本庄登山口へ下る。わずかに踏み跡程度でははっきりしたルートがなく倒木と水の流れた跡のある荒れた道はなんと歩きにくい。今田本庄バス停でバスの時刻を確認すると1日1本でそれも午前中のみ。タクシーを呼び古市駅で解散としました。 記:杉本								
連番	1030	例会No.	一般686	内容	湖北・七ヶ頭ヶ岳(693m)	実施年月日	2021/8/1	担当者	村浪、小椋(勝)
参加者	村浪義光、小椋勝久、保木道代、大森朋江、佐野雅美、小椋美佐							参加者数	6
担当者 コメント	JR木ノ本駅から車に分乗し上丹生集落の八田部橋の登山口へ向かう。暑いので1台を登山口へ置きもう一台を菅並の下山場所へ置くこれでバスの時間を気にしながら登ることはない。登山口の八田部橋の駐車場で今日の行程と挨拶を済ませ歩き始める。最初は高時川沿いの道歩く、涼しくて快適だ。しかし数分もしないうちに独立峰の特有の急登が始まる。風の無い登山道は暑い、とにかく暑い、汗をかきながらP381につながらる尾根へ出る。尾根で少し休憩をし、歩き始める。ここからまだまだ急登が頂上まで続くこまめに水分を補給しながら山頂へと向かう。登山口から90分ほどかかり観音堂に着く山頂は観音堂から西へ5分ほど歩いたところにある。ゆっくり山頂で休憩し下山する。下山道は最初、湖北の山らしいブナの新樹に囲まれた登山道歩く、青々とした葉の中を歩くのは気持ちが良いなどと考えて歩いていると案の定、急な下山道が始まる。慎重に足を運び下降する。山頂から1時間もたたないうちに菅並の集落に到着する。ここから車に分乗し木ノ本駅に向かい解散する。山頂でリーダーから参加者に配られた魔法の飲み物はよく冷えていて火照った体を冷やし疲れを癒してくれました。本当においしかった。 記:小椋(勝)								
連番	1031	例会No.	一般687	内容	和泉山脈・お菊山(332.8m)	実施年月日	2021/8/8	担当者	翁長、西村(晶)
参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1032	例会No.	一般688	内容	金剛山(1,125m)	実施年月日	2021/8/15	担当者	西村(晶)、翁長
参加者								参加者数	
担当者 コメント	コロナ禍中止								
連番	1033	例会No.	一般689	内容	加西アルプス(善防山と笠松山)	実施年月日	2021/8/22	担当者	山倉、小椋(勝)

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1034	例会No.	一般690	内容	新籠アルプス・亀山(457.8m)	実施年月日	2021/8/29	担当者	杉本、板谷
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1035	例会No.	一般691	内容	岩湧山(897m)	実施年月日	2021/9/5	担当者	西村(晶)、前田
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1036	例会No.	一般692	内容	水越峠～紀見峠駅 近畿の山リレー登山No.30	実施年月日	2021/9/12	担当者	山倉、板谷
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1037	例会No.	OP337	内容	大峰・百合ヶ岳(大所山1,346m)	実施年月日	2021/9/12	担当者	小椋(勝)、森本(善)
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1038	例会No.	OP338	内容	新潟・八海山(1778m)と巻機山(1967m)	実施年月日	2021/9/17～20	担当者	板谷、杉本
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1039	例会No.	一般693	内容	(ベーシック登山No.63) 但馬・立雲峽～竹田城址	実施年月日	2021/9/26	担当者	野原、杉本
参加者								参加者数	
担当者	コロナ禍中止								
コメント									
連番	1040	例会No.	一般694	内容	和泉山脈・犬鳴山表行場～高城山(649m)	実施年月日	2021/10/73	担当者	翁長、小椋(勝)
参加者	翁長和幸、小椋勝久、安本嘉代、小椋美佐、安岡和子、前田守、西村晶、和田敬子、檜葉三代子、中川由紀、板谷佳史、脇本勇二、佐野雅美、喜多田恵美子、西向美保子、中嶋恵子、安本昭久、大森朋江、村木正人、中村仁紀							参加者数	20
担当者	<p>コロナの緊急事態宣言が解除され、久方ぶりにいつものメンバーと顔をあわす。口には出さないが、何かウキウキするような気分になる。ワクチンの注射を打った人に挙手してもらったところ、全員だったので気遣いしなくても良いようだ。快晴のなか10時出発。バス停から溪流にそって行者の滝へむかう。総勢20名のにぎやかな事だ。犬鳴山の名のもととなった「義犬」の墓を過ぎたところで、山伏の一団が護摩を焚いて行をしている。テレビや写真では良く見るが、実際のものを見たのは初めてである。七宝龍寺から表行場へは立入禁止の看板が紐に掛かっている。表行場へは七宝龍寺手前から林道に上がり、裏側から行く事にする。不明瞭なふみ跡をたどり表行場へ。ベタ張りのフィックスロープに導かれて急斜面をよじ登る。急斜面の倒木をくぐったり、ずり落ちそうな所ではフィックスロープにつかまったり、難儀な所である。40分位で護摩壇のある空き地に出る。ここで表行場は終わる。この3m位下に「西の覗」があり、皆さん順番に覗いていました。はるか足元に林道が見え「西の覗」というのを実感する。今日、登ったコースは地獄岩や蟻の戸渡の迂回コースのようで、残念ながら蟻の戸渡は行けませんでした。ここからは急斜面をひたすら登る事になります。13時ごろ高城山に到着。下山コースのコツキ谷は倒木が多く、ここも難儀な事になっていました。そうこうしながら七宝龍寺につき、行者の滝を見てバス停へ。15時半ごろバス停。解散。今日は表行場や、コツキ谷の倒木で少々疲れました。ご苦労様でした。 記:翁長</p>								
連番	1041	例会No.	OP339	内容	谷高・高見山(1248.4m)～三峰山(1235.2m)～学能堂山(1021.6m)「近畿の山リレー登山No.31」	実施年月日	2021/10/9～11	担当者	杉本、板谷
参加者	杉本康夫、板谷佳史、有永寛、大森朋江、佐野雅美、上野あさみ							参加者数	6

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

担当者 コメント	<p>10月9日明神平は人気の山らしく、大又の駐車場は自家用車でほぼ満車状態です。バスで来ると大又バス停から歩かなければならず、タクシーに乗れば1時間20分の短縮になるし楽であり大変ありがたい。明神平までの道は大雨などの影響が荒れているように思える。途中に建っていたあしび山荘も今は基礎部分が残っているだけで明神平に移転されて立派な小屋になっている。明神平はいつ来ても風光明媚で気持ちの良い所です。このままここで泊まりたいと思う気持ちになる。ルートはここから北に取り、途端に人の気配が消える。尾根上の小ピークをほぼ忠実にアップダウンを繰り返しいい加減うんざりする頃高見峠に到着。あと1時間の登りであるがヘッドランプを着け高見山に到着。夜、星が綺麗であったが雨も降りガスも出ていた。</p> <p>10月10日今日も暑い1日が始まる。ルートは踏み跡程度になるが標識やテープが適度にあってコースとしてはしっかりしている。尾根上を忠実に辿り小さいアップダウンであるが何度も繰り返していると意外と体力が必要となる。請取峠には炭焼場と思われる跡があり南北の集落をつなぐ道が交錯していて炭を運んでいたのであろうか。今は地図には点線の道があるがそれらしき道が見えない。ここで沢ガニを見つけこんなところまで登ってきているのかと感心する。所々で見かけ思わず踏んでしまいそうになる。新道峠から水を補給しに新道コースを下り約10分で水場に到着。ネットで枯渇状態だと書き込みがあったので心配したが、心配するほどのこともなく給水でき安心しました。あとは三畝峠まで登って避難小屋まで下るのみです。小屋に到着すると同時に本降りの雨。天気予報では明日の天候は思わしくなく雨が心配です。</p> <p>10月11日陽が昇ると小屋の壁の隙間から陽が指し込んでいます。今日は雨を覚悟していたがみんな大喜び。三峰山頂までは冬と違って樹林帯の中、趣のあるルートです。山頂は北側の180度展望が開け古光山、俱留尊山など室生の山々、遙か向こうには尼ヶ岳が見渡せます。三峰北尾根一峰へは長い急下降が続き今日もまた尾根道が続きます。仏来山ではみんなが迷っているようで北向きにしっかりした踏み跡が着いている。しかし山頂から一旦右に90度曲ってそのあとゆっくり北に向きを変えるのがコースになる。小須磨峠では東西のはっきりした道がない。ほとんど人が往来していないようだ。東俣山の北斜面からは学能堂山の平らな山頂が見えたとあと少しと気を引き締めて登りにかかる。学能堂山頂からは360度展望が開け南を見れば今まで歩いてきた高見山からのルートがしっかり望まれる。北を向けば大洞山、尼ヶ岳、俱留尊山が見渡せ3日間の苦勞もあって最高の気分になる。このあとは杉平に下り3日間の例会を終了する。 記: 杉本</p>										
	連番	1042	例会No.	一般695	内容	京都・皆子山(971m)	実施年月日	2021/10/17	担当者	前田、野原	
参加者	前田守、野原勇、森本善博、佐野雅美							参加者数	4		
担当者 コメント	<p>昨日迄の残暑の様な暑い日が終わり、今日は朝から小雨が降る寒い1日でした。その為か堅田から乗った江若バスも、登山者は我々だけだった。参加者も少なく、ちよっと寂しい。平バス停で降りて、安曇川を渡って東尾根に取り付く。最初は杉木立の急登を登る。その後落葉の林へと続く。この辺りも台風の影響か、倒木が多く、またぎながら進む。11時半山頂に到着。小雨が降り風も有るので寒い、食事をとり直ぐに下山した。寺谷へ下る予定だったが谷が荒れているらしいので、来た道を下った。途中紅葉にはまだ早い木々の向こうに、琵琶湖が霞んで見えた。下山して平バス停で迎えのタクシーに乗り、帰路に着いた。 記: 前田</p>										
連番	1041	例会No.	OP340	内容	果無山脈縦走(冷水山1,262.3m)近畿の山リレー登山No.32	実施年月日	2021/10/23~24	担当者	小椋(勝)、杉本		
参加者	小椋勝久、杉本康夫、有永寛、上野あさみ、北山かな、村木とも子、安岡和子、大森朋江、小椋美佐							参加者数	9		
担当者 コメント	<p>10月23日 JR紀伊田辺駅からタクシーに分乗しヤマセミの郷登山口へ向かう。ネットで調べると登山口まで車で1時間程度との情報、11時から登山開始と考えていたら安全運転と悪路。まるでボツンと一軒家のロケのような道でかかった時間は1時間半以上。時間を気にしながら登山口で挨拶を終え出発。登山口から和田の森までは500m程度の登りを、息を切らせながら登る。ここからは100m程度のアップダウンの連続。整備された森の中の登山道にぎやかな声と共に歩くと1時間半程度で安堵山に着く。今日は登り始めが遅かったので行けるところまで行きテントの設営なので先を急ぐ。林道と交差しながらの登山道、スリリングな所もなく単調な道だがたまに熊野大社の鳥居や紀州の山々を見ることができ楽しむことができた。黒尾山を過ぎ冷水山に着く。冷水山から尾根伝いに東に10分程度行っただころにキャンプ地に最適などころがあり、そこで養生シートをテント代わりに北風の中食事を取り就寝した。</p> <p>10月24日 翌日も快晴、十分な睡眠もとることができ、軽い足取りで出発。カヤノダンから公門崩の頭を通りブナ平へ着く。ブナ平は杉の木が多くブナはない。ピーク直下にブナの平地がありそのことを指すのかと考える。二日目も単調な道が続くが大峰の山々や熊野大社の大斎原の大鳥居が見え少し気を和ませてくれました。果無山脈最後のピーク果無山につけば10分ほどで果無峠へ着く。休憩を取り高低差1000mほどの下りを下山する。長い下り坂をうんざりしながら2時間程度歩くと国道168号線に出る。ちょうど道の駅奥熊野行きバスが来たのでバスに乗り目的地に着いた。そこから路線バスに乗り換え紀伊田辺駅に向かう1本早い電車に乗ることができ田辺駅で解散する。 記: 小椋(勝)</p>										
連番	1042	例会No.	一般696	内容	南葛城山(922m)	実施年月日	2021/10/24	担当者	西村(晶)、翁長		
参加者	西村晶、翁長和幸、佐野雅美、脇本勇二、保木道代、前田守、喜多田恵美子、森本善博、山倉康次、西向美保子、飯尾廣子、中村仁紀、中川由紀、實操綾子、黒澤百合子、片山純江							参加者数	16		
担当者 コメント	<p>岩湧山方面の登山者と別れて千石谷の林道を進む、関電道よりノゾキ平まで 標高750mまでがきつい登りです。ノゾキ平まで登ると緩やかな尾根道になります、800mあたりより登山道の両側に背の低いクマザサが目立ち始め頂上に近づくにつれてクマザサは背丈以上になり前が見えませんが、頭をかかめての道探しとなりました。岩湧山に向かう南葛城山分岐点まで来ると登山道も広く歩きやすくなり、おしゃべりを楽しみながら紀見峠駅に下りました。 記: 西村(晶)</p>										
連番	1043	例会No.	OP341	内容	大普賢岳(1,779.9m)	実施年月日	2021/30~31	担当者	山倉		
参加者	山倉康次、中村仁紀、上野あさみ、脇本勇二、村木とも子、大森朋江							参加者数	6		

2021年度('20/11~'21/10)EPEクラブ活動報告

2021/10/E現在 板谷

担当者 コメント	10月30日 大和上市駅で全員合流し和佐又まで約1時間、和佐又に到着すると和佐又ヒュッテはすでに撤去されそこら中にキャンプ禁止の看板とロープが張られています、他の入山者も500m程手前の駐車場に皆駐車していました、テントを張った後に退去を求められたらめんどくさいので、仕方なく下の駐車場でテント泊としました。10月31日 5時起床、雨の予報でしたがまだ降っていません、朝食と撤収を済ませ6:50駐車場を出発、雨がパラパラ降ってきました、この後も傘を出そうか迷う程度の雨が降ったりやんだり、30分ほど歩いて広い尾根上で小休止、まずは笹の窟を目指します、8:10笹の窟着。これから先は鉄梯子階段や鎖場が続きますが、だいぶ昔に来て以来ですので、以前よりコースの整備はよくされて、新しい鉄栈橋等も設置され、危険箇所が少なくなっているように思えました。9:50大普賢岳着、雨が又降ってきましたので、少し下った樹林帯で休憩することとし、写真撮影後下りました。10:25合羽を着こんで下山開始、鉄階段は整備されているが濡れているので慎重に下ります、11:20笹の窟を通過、13:10駐車場に下山し解散としました。 記:山倉									
連番	1044	例会No.	一般697	内容	麻呂子山~二上山(517m)	実施年月日	2021/10/31	担当者	杉本、西村(晶)	
参加者									参加者数	
担当者 コメント	雨天中止									
一般例会(新年会含む) : 42回 / 148名		オプション例会 : 20回 / 37名		例会合計 : 62回		参加者総数 : 185名				